

議会
だより

あしや

対

NO. 194

平成 29 年 8 月 20 日発行
福岡県芦屋町議会

もくじ

6月定例会

- 芦屋港活性化推進委員会を設置 P 2～
- 決議 P 4～
- 7人が町政を問う（一般質問） P 6～
- 町かどインタビュー P 14

はまゆう群生地を観光に来られた方々
（平成29年7月19日撮影）

6月定例会（6月7日～16日）

第2回定例会が、平成29年6月7日から16日までの10日間の会期で開催されました。8、9日に行われた一般質問では、7人の議員が登壇しました。

条例、補正予算など22議案が上程され、全ての議案が可決されました。

芦屋港活性化推進委員

会設置条例の制定

（賛成多数・一部修正可決）

芦屋港が本町の持続的発展に果たす役割の重要性に鑑み、芦屋港の現状分析及び将来目指すべき方向と展望を提示し、観光レジャーの要素を持つ港及び周辺機能の活性化に関する事項を調査審議するため委員会を設置します。

*調査審議項目

・港の課題・問題点

・活性化の方向性

・活性化を実現するための計画策定、実態調査

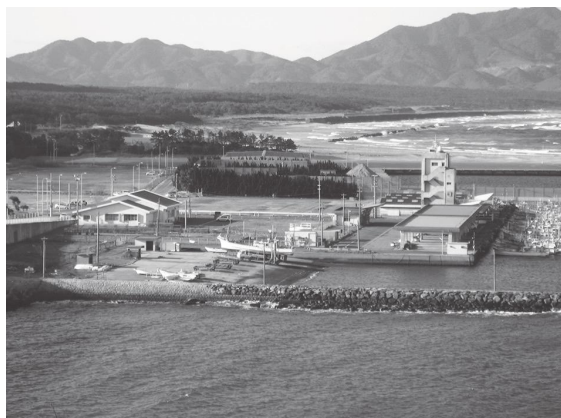
*委員数 20人以内

*任期 2年

質疑

問 今後管理・運営形態も調査・審議するのか。

答 運営形態についても審議する予定である。



現在の芦屋港の全景

問 議会の芦屋港湾活性化特別委員会との整合性は。

答 活性化推進委員会の会議資料、結果を毎回全議員に配付。また素案をまとめる過程で、素案の事前説明、意見聴取する機会を設ける。

反対討論

【議会を蔑ろにしている】

妹川征男議員

視察した千葉県館山港等は規模が大きく、周辺地域には歴史的観光地が

その他

専決処分事項の承認（税条例等）

（賛成多数・承認）

地方税法施行規則の一部改正に伴い、住民税の配偶者控除・配偶者特別控除等を見直します。

ある等、芦屋港とは雲泥の差があった。

活性化推進委員会設置の前に県が出した「芦屋港の現状と課題」の説明や課題について、町はなぜ議会に説明してこなかったのか。順序が逆であり、議会を蔑ろにしていると言わざるを得ない。

反対討論

【住民負担が増える】

川上誠一議員

今回の税条例の見直しには2つの問題がある。第一には、配偶者特別控除対象となる給与収入額を年収155万円に引き上げるが、就業調整には多様な要因があり不十分だ。

第二に軽自動車のグリーン化特例が見直され、古い車に乗っている人の税は重くなる。町内には燃費性能のいい新車より古い車のほうが多いため、住民負担が増えることになる。



条例

芦屋港のより良い活用を図るため

芦屋港活性化推進委員会を設置

契 約

新後水田地建設工事（建築）請負契約の締結
（満場一致・可決）

【落札業者】

宮本建設工業㈱

【入札価格】

約4億630万円

【工期】

29年6月23日～30年3月23日

質 疑

問 最終的な入札参加者は2者であるが、事前の説明会参加者は何者か。

答 事前説明はしていない。年度末から公共工事が増えているため、工事の管理技術者が不足しており、応募者が2者となった。

補 正
予 算

2,500 万円増額

29 年度一般会計予算総額 79 億 9,500 万円

歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
人件費等 （嘱託職員等から任期付職員の任用制度への移行による）	7 4 5 万円
芦屋港活性化推進委員報酬	2 9 万円
芦屋港活性化推進委員費用弁償	2 3 万円
ふくおか電子自治体共同運営協議会負担金 （オンライン化による子育てワンストップサービス）	2 3 万円
コミュニティ助成事業助成金 （自治区公民館の備品等購入費助成金）	2 5 0 万円
芦屋港活性化推進支援業務委託 （マーケティング調査及び地域住民や関係者、福岡県と計画の推進に向けた検討）	—

歳入では、社会資本整備総合交付金4000万円の減額措置と過疎対策事業債1940万円、財政調整基金繰入金4230万円の増額計上をしています。また、歳出では嘱託職員等の任期付職員への移行に伴う経費等745万円、芦屋港活性化推進委員報酬等52万円、芦屋港活性化推進支援業務委託料を計上し、総額で2500万円の増額補正です。

（賛成多数・可決）

問 宝くじ助成により松を1250本植樹することになるが、時期と場所

は。

答 11月18日頃、白浜保安林内に植える予定。

問 嘱託職員等の任期付職員への移行に伴い

554万円増額しているが、大きな違いは。

答 地域手当、通勤手当、扶養手当や住宅手当が加わる他、賞与の支給率が変わるため増額となる。

問 都市計画審議会委員の報酬と費用弁償が増額

されているが、なぜか。

答 現在8名であったものを条例に基づき10名にするもの。専門的知識を有する方と女性を追加したい。



松の植樹の様子



決議等

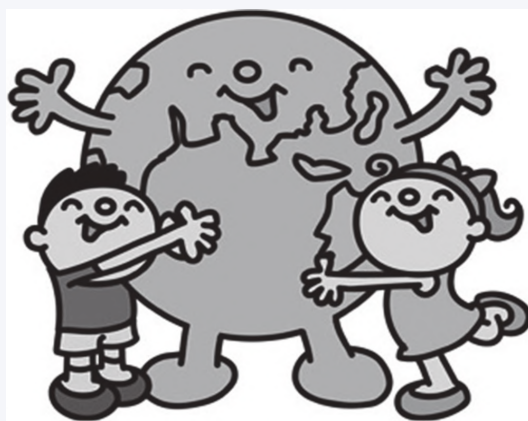
北朝鮮の弾道ミサイル
発射及び核実験に強く
抗議する決議

(賛成多数・一部修正可決)

「国際社会の強い警告と懸念を無視して強行された弾道ミサイルの発射や核実験は、芦屋町民の安心と安全を脅かす行為として断じて容認できない。政府は不測の事態にいつでも対応できるような情報収集や警戒監視を一層強化し、我が国の平和と国民の安全安心の確保に万全を期するよう強く求める。」という決議です。

質疑

問 外交問題は慎重であるべきと自治省から通達があったが、効果をど



のように期待するのか。

答 広報紙に掲載し、芦屋町議会の姿勢をアピールしたい。

反対討論

【外交交渉に影響を及ぼす行動は慎重になるべきだ】

松岡泉議員

北朝鮮のミサイル開発は、我が国の安全保障にとって極めて重大な問題である。政府は、国連安保理への提訴をはじめ、関係各国との連携を図つ

ており、我が国の安全の確保に万全を期している。本件は、センシティブな外交問題で、朝鮮へ断固抗議する気概は全く同意であるが、国の外交交渉に影響を及ぼす可能性

重であるべきと考え、本決議には反対する。

【パフォーマンスにしか思えない】

辻本一夫議員

北朝鮮ミサイル発射問題に対し、政府は日本や米・韓が連携し対応している。当議会として決議するならば、国民や町民の安全・安心を守るために、国と執行部に具体的な対策内容を決議することが重要であると思う。また、町民にアピールするために決議するのであ

【国政の問題であり慎重に取り扱うべきである】

貝掛俊之議員

国は我々よりはるかに多くの情報を有している。その中でこの問題を慎重に各国と連携し、協議している。この問題は、尖閣問題、竹島問題、T

PP問題とは、危機感が格段に違うため、安易に取り扱うべきではない。町民に周知するという

発言が質疑の折にあったが、政治はパフォーマンスではないと考える。

【提出先も決まっていらない決議は反対】

横尾武志議員

この決議を住民にアピールすることによって住民の不安をあおってしまう。町の公益に



関することであっても、現在政府が外交問題を頑張っているため、遠慮するべきだ。また、決議した場合の提出等は議長に一任し、提出先も決まっていらない決議であるため賛成できない。

【国の行動を見守るべき】
内海猛年議員
北朝鮮のミサイル発射や核実験については、私も憤慨しているが、この決議の目的は何なのか。決議は、議会として町民

【住民の安全の観点から賛成する】
刀根正幸議員
この決議について、さまざまな視点での意見があるが、両親からの「木を見て森を見ず」という言葉を思い出す。今回私が感じるところは国が行う事務とは視点を異にし、住民、とりわけ商業関係者において不利益なことが発するため、国の外交問題と同調するとともに住民の安全の観点から賛成する。

6月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見がわかれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。

○：賛成、×：反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	松岡	今田	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	松上	横尾	小田			
芦屋町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	議長	9	2	可決
芦屋町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	議長	9	2	可決
芦屋町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	10	1	可決
芦屋港活性化推進委員会設置条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	10	1	一部修正
平成29年度芦屋町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	10	1	可決
専決処分事項の承認（税条例関係）	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	議長	9	2	承認
北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に強く抗議する決議	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	議長	6	5	一部修正

行政報告

行政報告とは・・・

町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成29年3月から6月までにおける行政報告の一部を掲載しています。

「第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会」リレー放流

全国豊かな海づくり大会とは水産資源の保護・管理と海や河川の環境保全の大切さを広く国民に伝え、漁業の振興と発展を図ることを目的としています。

「育もう 海人 地域 みんなの未来」をテーマに福岡大会が10月28日（土）・29日（日）開催されます。福岡大会の周知と機運の醸成



5月14日リレー放流の様子

を図るため、5月14日「浜運動会」会場の柏原海岸で山鹿小学校6年生や県議会議員、町議会議員、漁業関係者などの皆さんによりカサゴ1000匹を放流しました。

「芦屋町議会の姿勢を町内外に示すべきだ」

今田勝正議員

北朝鮮は、日本国に対し、「有事の際には米国より先に、日本列島が丸ごと焦土化する」と声明を出し、その挑発は止む気配はない。芦屋基地は、町民の生活に密接に結びついている。自衛官の日々の業務に、私たちは敬意と感謝を示すとともに、町内には、心配する家族や友人達がたくさん住んでいることを忘れてはならない。

発言の取消し

6月9日の一般質問における発言について、今田議員より「不適切な発言があった」ということで、6月15日付で発言取消申出書が提出され、6月16日の本会議で発言の取消しが許可されました。

一般質問

町政を問う

6月8、9日に議員7人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

ページ	質問議員	質問事項
7	横尾 武志	◎新教育長に問う
8	川上 誠一	◎健康保険法 44 条と無料低額診療事業について ○町内の交通問題について ◎認知症対策について
9	松岡 泉	◎「障害者差別解消法」に関わる条例の制定について ◎学校教育の課題と今後の方向性について
10	内海 猛年	◎農業振興について ◎教科書採択問題について
11	今田 勝正	◎前教育長の教科書採択に係る法令違反事件について
12	妹川 征男	◎教員の過重労働解消について ○町職員の時間外労働及び長期休職者に対する対応について
13	田島 憲道	◎産官学の包括連携の取り組みについて ○芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況と成果について





よこ 横 お 尾 たけ 武 し 志

4月に就任した教育長に抱負を尋ねる

教育長

学校教育、社会教育ともに6つの点に力を入れていく

新教育長に問う

議員 4月に就任された教育長に抱負を尋ねる。

教育長 芦屋の子どもたちに芦屋が大好きと実感し、愛着と誇りを感じてほしい。

学校教育では①学力向上②豊かな心の育成③芦屋型小中一貫・連携教育④特別支援教育の推進⑤健やかな体の育成⑥シビックプライドの醸成に力を入れ、大人になったときに芦屋に貢献できる人材育成に努める。

社会教育では①生涯学習の総合的な推進②生涯スポーツの推進③歴史文化の保護④人権・同和教育の推進⑤青少年体験活動の充実⑥青少年のための安全・安心なまちづくりに取り組む。

議員 教育委員会の改革は何をするのか。

教育長 学校教育では①教師と子どもの向き合う時間の確保のため、事業の整理を行う。



小学校の授業風景

た。地元のプレッシャー等もあるが、持てる力を全力で発揮したい。

議員 いじめ問題について、今後、芦屋町の学校においていろいろなあると思うが、隠さないようにしてほしいがどうか。

教育長 いじめは決して許されないことだが、いじめはどの学校でも、どの子どもでも起こり得るという考えを基本とし、早期発見・早期対応に努める。

議員 先生がいじめることに指導を考えているのか。

課長 校長を中心とした校内生徒指導委員会等で職員に対する研修を深め、認知力を高めていきたい。

議員 これから教育方針を打ち出していくと思うが、芦屋町の教育長の席に着いた感想は。

教育長 教育活動を充実させることによって、芦屋町に恩返しができる機会を頂い

社会福祉法による無料低額診療事業の周知を行うべきでは

福祉課長

県の「困りごと相談室」や町の窓口で周知や施設の紹介を行う



かわ 川 上 誠 一

国保44条と無料低額診療事業

議員 国保44条に基づき医療費の無料化を行う一部負担金減免制度の運用状況は、

課長 27年に施行したが活用件数はゼロである。

議員 県内で199世帯と、ほとんど活用されず、

町でも無保険者109世帯が医療にかかれない状況。この制度は、収入が前年より著しく低下した時という規定があり、常に低所得の方は対象とならない。規定を変えるべきでないか。

課長 恒常的に所得の低い方は生活保護など福祉施策に繋ぐことが大事であり拡大は考えてない。

議員 医療費の支払いが困難な人に医療費の無料化を行う無料低額診療事業があるが、町は周知を行っているのか。

課長 社会福祉法による事業のため県や政令市の事務であり町は県の要請により対応することになっている。

議員 県内では39施設がこの事業を行っており、北九州市でも大手町病院や済生会病院などが行っている。ホームページや広報、窓口で町民に知らせるべきでないか。

課長 県と連携し、困りごと相談室で施設の紹介や町の窓口で周知・情報提供する。

認知症対策

議員 神奈川県では認知症の早期発見・早期診療のため、地域で連携し、情報提供する「よりそいノート」を作成しているが、町での取り組みは、

課長 町単独で取り組むのではなく、神奈川県のように広域的に行うべきと考えている。郡内の在宅医療介護連携

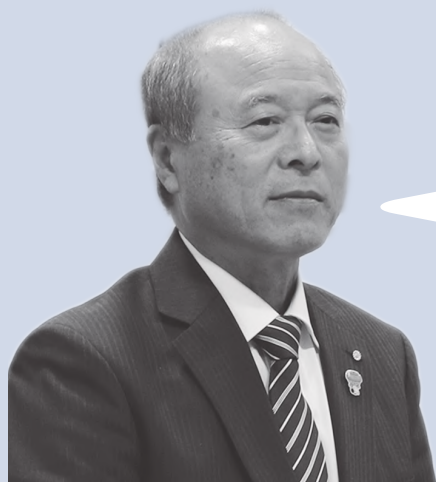
推進協議会で提案したい。

議員 認知症と診断された方が障害福祉手帳を取得することができるとか。

課長 日常生活や社会生活に制限を受けるなどの理由があると県が判断する場合、取得できる。所得税や住民税の控除、公共施設やバス等の料金の割引、医療費助成のある重度障害者医療証の対象となる場合もある。



神奈川県のよりそいノート



まつ松 おか岡 いずみ泉

障害者差別解消法に関わる町条例の制定は

町長

県と調整し、条例の施行に向けて進めていきたい

障害者差別解消法 に関わる条例の制定

議員 障がいと理由とする差別についての相談状況は、ここ1年間でどうであったか。

課長 窓口や電話での障がいを理由とする差別の相談事例はなかったが、29年4月に実施したアンケートの調査結果を見ると、差別を受けたと考えられるケースがあった。

議員 県条例による町の役割りは。

課長 障がいを理由とする差別解消の推進に関する施策を策定し、これを実施するように努めることである。

議員 町の条例制定についてのは。

町長 県と調整し、遠賀郡4町足並みを揃えて、この条例の施行に向けて進めたいと考えている。



聴覚障がい者を支援する手話の会

学校教育の課題と 今後の方向性

議員 今回改訂される新学習指導要領の理念、概要やポイントは何か。

教育長 学校教育を通じて、よりよい社会をつくるという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む社会に開かれた教育課程を実現することである。

議員 教職員の負担軽減のため専門員などの部外者を登用する考えは。

議員 複雑化・多様化する課題が教員に集中し、教育指導に専念しづらい状況が生じている。新たなチーム学校としての在り方を実現するための一つに、専門性に基づくチーム体制の構築がある。チーム芦屋として町の教育力を高めたい。

教育長 複雑化・多様化する課題が教員に集中し、教育指導に専念しづらい状況が生じている。新たなチーム学校としての在り方を実現するための一つに、専門性に基づくチーム体制の構築がある。チーム芦屋として町の教育力を高めたい。

議員 学校へ地域が関わる重要性と今後の課題は。

課長 各学校とも、地域の協力やボランティアなしでは成り立たない。学校と地域の連携・協働の重要性は、極めて高いと考えている。

また、課題については、地域から学校を核としたコミュニティ・スクールを導入したいという意見が出てくるような機運の醸成である。

町長は芦屋町の農業振興をどのように考えているのか



うち内 とうしき

町長

若手農業者等の声を聞きながら、
農業の活性化を推進する

農業振興

議員 農業の実態は、農業従事者の減少と高齢化や後継者不足など多くの問題を抱えているが、本町での農業後継者や新規就農者への支援策は、

課長 芦屋町では、10年間で農業就業者は29名、農家数は13件減少している。将来展望が見えないため、新規就農や後継者になりにくい状況にある。今後は、農業者の実際の声を聞き、必要な支援や取り組みを考えていきたい。

議員 農用地区域内の遊休農地や耕作放棄地が問題である。対策と取り組みは、

課長 農用地区域内の遊休農地は約2万㎡である。今後は、所有者の利用意向をしっかりと把握し、耕作放棄地及び遊休農地の解消に取り組む。また、市民農園の整備について検討する。



大雨で冠水した山鹿裏耕地 (H29.7.7 撮影)

議員 山鹿裏耕地の冠水対策の進捗状況は、

課長 県の農業水利施設保全対策事業により、汐入川本線等の護岸改修工事及び土砂の浚渫工事を行っている。また、町費で山鹿裏耕地の農業用水路220mの浚渫工事を行った。このような改修や浚渫により、必要な断面積を確保することが冠水対策の一環であると考えている。



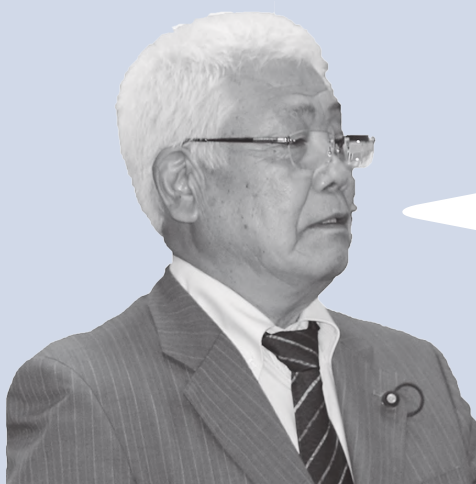
芦屋町の若手農業者

議員 田屋から正津ヶ浜間の農業用水路の一部狭い箇所が、冠水の原因と考えられるが、抜本的な改良は、

課長 一部狭い箇所については、流量の確保ができるか、県と協議を行っていく。

議員 町長は芦屋町の農業振興をどのように考えているのか。

町長 芦屋町では関係者の努力により若手農業経営者が育っている。今後は、若手農業者等の声をじっくり聞いて、農業の活性化を推進する。



いままさ だかつ勝 田正

前教育長の教科書採択問題についての説明責任は

教育長

広報あしやに報告記事を掲載する

前教育長の教科書採択に係る法令違反事件

議員

前教育長は「法規定を知らなかった、迷惑をかけて申し訳ない」と釈明しているが、任命権者である町長は町民に対する説明責任を果たすべきと思うがどうか。

町長

前教育長の任命責任者として町民の皆様にも多大な不信感を与えてしまい大変申し訳なく、おわびする。

教育長

議会の皆様と町民の皆様への信頼を失墜させたことに関して、芦屋町教育委員会を代表しておわびする。大変申し訳ない。この件の町民の皆様に対して、果たすべき説明責任についてだが、教育委員会の定例会において、教育委員と協議検討した結果、広報あしやに報告記事を掲載し、町民の皆様にご説明・お知らせすることに決定した。



採択された小学校の教科書

議員

前教育長は、この事件が報道される直前、29年3月31日付で辞任しているが、任期はいつまでだったのか。任期途中であればその理由は。課長 前教育長の任期は29年9月19日までであった。退任の理由については一身上の都合ということである。

議員

退職金の返還または減額を要求するべきではないのか。

課長

退職手当に関する条例の「退職をした者の退職手当の返還」の規定では、退職金の返納を求めるものとしては、

1. 在职期間中の行為に係る刑事事件に関し禁固以上の刑に処せられたとき。
 2. 在职期間中に懲戒免職処分を受けるべき行為をしたと認めるとき。
- の2通りである。

検討の結果、退職手当の返納事由には該当しないため、返納は要求しない。





お 男 いく 征 かわ 川 いも 妹

命や健康に関わる過重な業務に追われているが芦屋町の現状は

教育長

中学校の教員の約30%がすでに過労死ラインを超えている

教員の過重労働解消

議員

文科省の調査では教員の労働時間は年々増加し、命や健康を損なうような過重な業務に追われ、悲鳴を上げているという。芦屋町の場合はどうか。多忙化の原因は何か。

教育長

中学校では教員の30%が過労死ラインを超え、小学校では、ラインぎりぎり2校で50%。1校で40%。

課長

業務が複雑化・困難化によって業務量が増大。保護者対応、授業時数の増加、土曜日授業の導入、町独自の教育活動、重点課題研究の対応、中学校は部活動の対応もある。

議員

多忙化の原因を把握しないと過重労働解消にはならない。出退勤記録簿やタイムカードで調査をしたのか。

教育長

学校にはタイムカードはない。校長に聞き取り調査を行った。

議員

外部指導員の確保のため予算化し、部活動を側面から支える必要があるが、外部指導員の人数と手当は。

課長

現在5名。その謝礼は1年間に30日以上勤務者は年額2万円。30日未満の者は1万円。

議員

家で連絡帳の記入や採点など、夜遅くまで仕事をし、仕事と家庭のバランスが崩れると聞く。労働時間の適正化に関する諸法令は。

課長

超過縮減に向けた具体策を記載したハンドブック、年次休暇の使用促進等の通知文書、業務の適正化策を示した通知文書がある。

議員

長時間労働は教員の健康を害し、生き生きとした教育活動を阻害する。これらを解消するため、行事の見直し、業務の精選、効率化を図る必要がある。教育委員会として、



中学校の部活動風景

校長会等への周知方法は。

課長

年度当初の校長会で超過勤務縮減や業務改善、効率化に取り組むよう直接指導をしている。

議員

事務軽減の方法として校納金を袋に入れて納める制度をやめ、口座引き落としにする提案はどうだったか。

課長

早急に校長会に通知して検討を進めるように指示はしている。



た 田 じま 島 けん 憲 どう 道

無人走行バスの自動運転実験をする考えは。

町長

50年先を見越してやられているが、今何をするかが一番大事

産官学の包括連携 の取り組み

議員

町は大学との連携により、地方創生を推進していく上で大学の知見やノウハウを生かした、元気な芦屋町を目指すことを掲げているが、現在の取り組みは。

課長

28年3月に九州女子大学・九州女子短期大学と協定を結び、お互いの資源や知識、ノウハウ等を効果的に連携できるよう取り組んでいる。

昨年度は、土曜学び合いルームへの学生派遣、芦屋東小学校の研究発表会、船頭町での地域交流サロン事業への講師派遣等。また、「さわらサミット」では、大学考案の「さわら巻き」の提供のほか、イベント企画を担当した。

今年度は新たに、学生から見た芦屋町の課題の抽出なども行う。他にも、関西学院大学との連携事業にも取り組んでいる。

議員

安倍内閣の成長戦略が閣議決定された。IOTにより、企業の生産性を高め、成長を阻害している人手不足の緩和を目指すということだが、安全を確保しつつ、着実に、新産業を育成できるかが課題となる。その中で、全国10力以上の公道で無人走行バスの自動運転実験を実施するとある。ひびきの学術研究都市では、北九大、九工大と早大等が、共同で自動走行システム開発に成功し、研



無人走行バス

究を進めている。最近、ひびきの小学校が開校し、公道での実験走行は厳しいと聞いたが、はまゆう団地周辺等で、この自動走行運転の実証実験ができるのではと考える。近い将来、無人のバスにより、いろいろな問題が解消できるのではないか。

町長

30年先には、そういう時代が来るのかなと。確かに大学等では、50年先のことを見越して、研究されているが、我々行政を預かっている者に与えられた使命というのは、今何をするかというのが一番大事である。町民に対し、どのような福祉、教育、振興策を議論するか。サイクルとすれば10年、20年先を見越し、次の世代にうまくバトンタッチができるように、基盤づくりをしっかりやらなければならないと思っている。

※注1 産官学
産業界、国や地方自治体、大学や研究機関の総称。

町かど インタビュー

芦屋町のシンボルの存在で、町花として親しまれているはまゆうの花が今年も芳しい香りを漂わせています。南方から種子が暖流に乗って漂着繁殖したといわれ、九州本土では夏井ヶ浜が自生の北限に当たり、福岡県の天然記念物に指定されています。万葉集にもはまゆうを読んだ柿本人麻呂の一首があるように、古代からも愛された花です。開花時期には町内外からも多くの方が散策に來られます。



はまゆうを見に來られた方々

Q はまゆう群生地をバックに響灘を臨むご感想は。

A 我が家からの散歩コースのひとつです。はまゆう群生地からの眺望は最高ですよ。

Q 芦屋町に住んでのご感想は。

A 芦屋町に住んで43年。交通の便、買い物など不便もありますが、時間がゆっくり流れていく感じが好きです。

A 芦屋町のはずれのはまゆう団地は本当に交通の便が悪いです。年を重ねるとに不安を感じます。

Q 町政に期待することは。

A 高齢者、障がいを持った方、生活困窮者の視点に立つ町政をお願いします。



開花したはまゆう

A 区の行事に町職員が参加することによって町民とつながりが生まれ話しやすいなりました。これからも続けて欲しいものです。

A 若い方々の働く場所を確保してほしいです。

A 高齢者が利用する巡回バス停にベンチを設置して欲しいです。

議会の傍聴受付を変更しました！

個人情報保護のため5月30日より議会の傍聴受付を連名記入から**1人1枚記入**に変更しました。

※詳しくは芦屋町ホームページをご覧ください。

次回の定例会は 9月7日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。

また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(Tel 223-3579)

記入例

受付番号: ○
開催日: 平成○年○月○日

傍聴人受付票
○○○委員会

1. 氏名: 芦屋太郎

2. 住所: 芦屋町幸町2番20号

議員控室

4月より委員会構成が新たになりました。

委員会では、これまで同様、より良い広報紙を目指し改善を重ねていこうと、検討課題を整理しました。

また、皆さんに議会が身近な存在であることを感じていただけるよう議会録画中継システムを12月定例会までに導入する予定です。

町議会に対して一層のご理解を深めていただきたいと思ひます。

厳しい暑さが続いています。皆さんも健康には気をつけましょう。

川上 誠一

【発行責任者】

議長 小田 武人

【議会広報常任委員会】

委員長 川上 誠一

副委員長 内海 猛年

委員 妹川 征男

委員 刀根 正幸

委員 今田 勝正

委員 松岡 泉